

3年目迎えた「恋人の聖地」

若い男女に出会いの場を提供して観光振興につなげる取り組みがスタートから3年目を迎え今月初め、六本木ヒルズでセレモニーが開かれた。「恋人の聖地」と銘打ったプロジェクトは、静岡市に本部を置く地域活性化センターが主催している。

レジャー多様化などで旅行に出掛けなくなったとされる現代の若者に、旅の楽しさを知ってもらうとともに、美しい風景の海岸・公園や都市型スポットなど多様な日本の魅力を紹介。愛を告白するスポットを全国100カ所選んで「恋人の聖地」とするとともに、話題づくりの1つとして「プロポーズ



の言葉コンテスト」を開催する。

聖地は3年間で全国77カ所と海外2カ所に広がり、今年は海外2カ所目の聖地となったフランス・セントバレンタイン村からピエール・ルッソー村長が来日。選定委員を務める千葉商科大学の島田晴雄学長やブライダルデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さん、タレントの早見優さんから記念のプレートを贈られた＝写真＝。

また、プロポーズの言葉コンテストでは間もなく33歳になる東京都江戸川区の女性が考えた「大台ぞろ目記念で、お嫁にもらってください」が最優秀賞に。セレモニーでは、これまでのコンテスト応募作品を単行本にまとめて出版することも披露された。